

18. 大腿骨近位部骨折患者における早期リハビリテーション開始率

算式

【分子】 分母対象例のうち、手術年月日から数えて4日以内に
「H002運動器リハビリテーション料」を算定している患者（EFファイル）

【分母】 様式1の「医療資源を最も投入した傷病名」が次のいずれかの退院患者（ICD-10：①M2435、②M2445、③S7200、④S7210、⑤S7220、⑥S7230、⑦S7270、⑧S7280、⑨S7290、⑩S730＝MDC160800）及び、当該入院期間中に「K0461（大腿）」、「K0731（股）」、「K0811（股）」のいずれかを算定している患者（EFファイル：部位はレセプト電算コードにより識別）

※分母除外項目

1. 手術後3日以内に退院した患者
2. 当該入院期間中の様式1の手術情報に異なる手術日が2日以上ある

定義

大腿骨近位部骨折の入院患者のうち、手術日から4日以内にリハビリテーションが実施された患者の割合

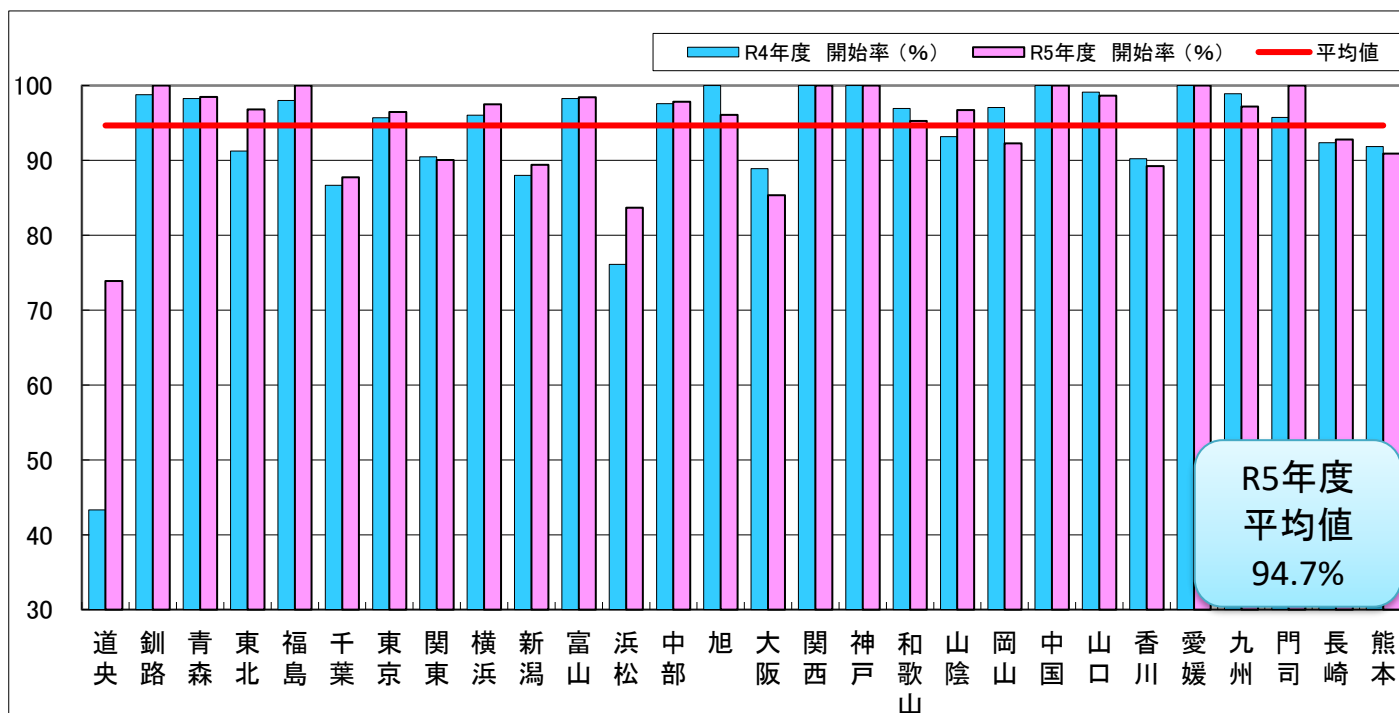
指標の解説

D P Cデータより抽出

大腿骨近位部骨折患者に対して術後速やかに座位をとらせ、早期から起立・歩行を目指して下肢筋力強化訓練を行うことにより早期回復、早期退院に向けた取組を行っている状況から評価する。

実施率が高い場合には、患者の早期社会復帰に積極的に取り組んでいると評価できる。

18. 大腿骨近位部骨折患者における早期リハビリテーション開始率



No	施設名	R4年度			R5年度		
		分母	分子	開始率 (%)	分母	分子	開始率 (%)
1	道央	30	13	43.3	23	17	73.9
2	釧路	81	80	98.8	70	70	100.0
3	青森	57	56	98.2	66	65	98.5
4	東北	80	73	91.3	94	91	96.8
5	福島	101	99	98.0	93	93	100.0
6	千葉	120	104	86.7	106	93	87.7
7	東京	93	89	95.7	85	82	96.5
8	関東	179	162	90.5	221	199	90.0
9	横浜	152	146	96.1	120	117	97.5
10	新潟	100	88	88.0	104	93	89.4
11	富山	58	57	98.3	64	63	98.4
12	浜松	134	102	76.1	141	118	83.7
13	中部	165	161	97.6	184	180	97.8
14	旭	178	178	100.0	205	197	96.1
15	大阪	45	40	88.9	41	35	85.4
16	関西	55	55	100.0	51	51	100.0
17	神戸	76	76	100.0	69	69	100.0
18	和歌山	163	158	96.9	127	121	95.3
19	山陰	176	164	93.2	152	147	96.7
20	岡山	171	166	97.1	181	167	92.3
21	中国	204	204	100.0	234	234	100.0
22	山口	114	113	99.1	148	146	98.6
23	香川	82	74	90.2	65	58	89.2
24	愛媛	40	40	100.0	49	49	100.0
25	九州	182	180	98.9	178	173	97.2
26	門司	47	45	95.7	37	37	100.0
27	長崎	210	194	92.4	263	244	92.8
28	熊本	196	180	91.8	187	170	90.9
合計		3,289	3,097	94.2	3,358	3,179	94.7
平均	500床以上	113	106	94.2	108	101	92.8
	400床以上	140	135	96.3	134	128	95.7
	300床以上	141	131	93.0	147	138	94.1
	300床未満	73	68	93.5	78	74	95.1